

組合員の作品

月下美人

夜中に咲いて、
明け方には散ってしまう

守口東支部
石井シゲ子



組合員の声

「ずっと元気」生協ニュース、毎号私の元気の源です。カラー印刷で二層、中身の濃いニュースとなりました。「川柳・短歌・俳句」から組合員・仲間の肉声が聞こえてきます。猛暑、コロナ禍、そしてウクライナ侵攻。ロシアのプーチン大統領に本当に怒りを感じ

ています。いかなる戦争も絶対ダメです。そして許せないこと、何よりも「国政」。今の自公政治を変えなければ、そのために一人ひとりの力を大事にしたいと願うのは私だけではないと思います。

門真西支部
吉村 清一 (85歳)



3年ぶりの被爆地広島・長崎での開催

原水爆禁止世界大会



「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を 人類の未来のために」をテーマに世界大会が開催されました。けいはん医療生協を代表して、門真東支部・豊北さんが参加されました。感想と写真を紹介します。

広島・長崎に原爆が投下されて77年。原水爆禁止世界大会が、コロナ感染の影響で3年ぶりに開催され、私は広島大会に参加させていただきました。初参加、そして組合からは1人の参加で不安もありましたが、新大阪駅では民医連の方や同じく一人参加の他の医療生協の方たちと気持ちも通じ合い、楽しく参加させて

いただきました。主催者は、「平和で公正で持続可能な世界を実現するため、全地球規模の連帯と共同を大きく発展させましょう」と呼びかけられました。私は、今回の参加で、ウクライナ情勢と核廃絶・平和を希求するたくさんの方々の内外の方々、また被爆された方の発言を聴く中で、世

界は一つという思いが強くなりました。そして、普段の小さな場所での平和行動が大切であり、行動していく人、発信していく人を広げる活動こそが平和を構築するうえで大切な役割を果たしていることを学びました。

門真東支部
豊北 裕子



▲会場入り口にて。中央が豊北さん



▲ウクライナの平和主義運動事務局長ユーリイ氏



▲福島からの発信



9月24日は門真ルミエールへ

幣原喜重郎 生誕150周年記念事業 平和への願い

先月号に続いて取り上げる「幣原喜重郎 生誕150周年記念事業 平和への願い」は、戦争と平和の問題をしっかりと考える良い場となります。組合員本人に限りチケット補助も設定しました。奮ってご参加ください。

▶日時 2022年9月24日(土) 13時30分開場・14時開演

▶場所 門真ルミエール 大ホール

▶料金 全席自由席
 ・前 売：3,000円
 ・当 日：3,500円
 ・高校生以下：1,500円

組合員本人に限り、前売り券限定で、1000円(高校生以下500円)をけいはん医療生協で補助します(1人1枚)。チケット購入のお問い合わせは地域サポートセンターまで。

▶クラシックと演劇のコラボレーションです

劇団往来 (げきだん・おうらい)



クラシック音楽 関西フィルハーモニー管弦楽団

▶演奏予定曲目と演劇場面設定

- ①チャイコフスキー：アンダンテ・カンタービレ
第1場 幣原が令和の門真に戻って叫ぶ「世界はまだ戦争をやめないか。そしてまた人が焼かれ、喜ぶのは死神だけだ」
- ②モーツァルト：アダージョとフーガ八短調
第2場 第一次世界大戦
- ③バッハ：六声のリチェルカーレ
第3場 不戦条約 軍縮交渉とは形を変えた戦争である。
- ④グリーグ：オーゼの死
第4場 戦争への道は太平洋戦争へ
- ⑤バーバー：弦楽のためのアダージョ
第5場 内閣総理大臣として「まずやるべきことは新しい日本の憲法の制定だった」
- ⑥ホルスト：セントポール組曲
第6場 VS マッカーサー「世界の共通の敵は戦争それ自体です」
- ⑦シベリウス：アンダンテ・フェスティーボ
第7場 エピローグ
非武装宣言は全く狂気の沙汰である。しかし、世界は今一人の狂人を必要としている。